

1) 生徒対象のアンケート結果

○ 生徒の評価が 高かった 項目

1. わたしは学校の規則に従い、身だしなみを整えている。(98.1%)
2. わたしは学校生活の中で、他者の人権を大切にすることを心がけている。(95.7%)

● 生徒の評価が 低かった 項目

1. わたしは学校の図書館を利用している。(16.4%)
2. 私は「図書館だより」等を通じて図書館の活動について知っている。(36.9%)
3. 学校の設備は充実している。(38.3%)

2) 保護者対象のアンケート結果

○ 保護者の評価が 高かった 項目

1. 学校の教育活動において、子どもや家庭の個人情報を守られている。(96.5%)
2. 学校は商業高校として特色ある教育活動を行っている。(94.7%)

● 保護者の評価が 低かった 項目

1. 学校の施設や設備は充実している。(44.2%)

3) 課題としていた項目の回答の変化

1. 悩み等についての相談を先生にすることが出来る。(生徒アンケート)

R2 45.8 % → R3 52.4 %

2. わたしは授業の予習・復習・検定の勉強等、自主学習に励んでいる。(生徒アンケート)

R2 39.7 % → R3 52.8 %

3. 教員は授業改善に努め、指導方法等の工夫に努めている。(保護者アンケート)

R2 70.8 % → R3 72.1 %

4) アンケート結果の分析と課題

- ・ 生徒対象アンケートおよび保護者対象アンケートにおいて、評価の高い項目と評価の低い項目は、昨年度からほぼ変化がない。
- ・ 多くの生徒が授業に集中して取り組んでいる(87.4%)と答えている一方で、授業外での自主学習に励んでいると答えた生徒は52.8%となっている。昨年度に比べると、肯定的な答えの割合は増えたが、自主学習についてはまだ十分ではない状況である。
- ・ 学校の身だしなみ指導について生徒、保護者ともに、一定の理解を得ている。またコロナ禍において、人権に対する意識啓発が重要になっている状況の中、生徒は他者の人権に配慮した行動をとっている。
- ・ 図書館の利用については、図書だよりや読書週間の実施などを行っているが、利用者があまり

増えていない。

- ・ 様々な悩みについて、生徒は教員に相談できると感じている回答は昨年より増えている。スクールカウンセラーとも連携しながら、一層の支援体制を整えていきたい。
- ・ 保護者対象のアンケートの回答において「わからない」の選択が目立った。コロナ禍で、保護者の方々に学校に来ていただく機会が極端に少なくなり、学校の様子が十分に伝わっていない状況である。

5) 今後の取組みについて

上記のような結果を受けて、今後以下のことに取り組む。

- ① 自分の行動に責任を持ち、実生活・実社会で主体的に生きていくために必要な力を備えた生徒を育てるために、まずは職業人としての基礎・基本をしっかりと定着させることを目指し、学業はもちろん、挨拶や言葉遣い、身だしなみ等の指導にも引き続き学校全体で取り組む。
- ② 図書館の利用については、引き続き、図書館オリエンテーションの実施や、図書館だよりの発行、また、ホームページでも図書館や図書委員の活動を積極的に発信する。ただし、1人一台端末の導入により、情報センターとしての役割が薄れている状況を踏まえ、図書館の役割を見なおしたい。現在行っている読書週間の実施についても、実施方法などを見直して、継続的な効果につながるような取組としたい。
- ③ 学習指導については、スタディーサポートなどの結果から、生徒が本校に入学してから卒業するまでの期間において、生徒の学習意欲や学習習慣がどのように変化するのかを分析し、学習意欲が低下しがちな時期に適切に声掛けを行ったり、短期的な目標を持たせるような工夫をしたりして、働きかけていきたい。また、校内の他教科や他校の実践に学びながら、継続的な授業改善を行い、ICT機器を有効活用して、効果的な指導につなげる。
- ④ 生徒とのコミュニケーションを大切にして、面談習慣をはじめ、面談時間を確保する。また、スクールカウンセラーとも連携して、生徒の悩みに寄り添いながら支援を行う。
- ⑤ ホームページにおいて学校行事の様子を実施後迅速に掲載するなど、保護者の方に学校の様子を理解していただけるよう工夫する。